B

クリーンスポーツ行動・習慣化。

アスリートとして「やらなければならないこと」と「できること」を知ろう。

9ページから10ページ

クリーンスポーツを実現するために何をすれば良いの？

アスリートには、クリーンスポーツに参加する権利と、自身の権利を守るための約束ごとがあります。

クリーンスポーツを創るために、アスリートには、やらなければならないこと（責務）とできること（権利）がある。

クリーンスポーツを実現するために、アスリートには何ができるでしょうか？アスリートには、クリーンでフェアなスポーツに参加する「権利」があります。同時に、アスリートには、クリーンスポーツに参加するための「責務」もあります。自身の権利でしっかりと身を守り、責務を積極的に果たすことで、クリーンスポーツへ、そしてスポーツの未来に貢献することができます。

アスリートの権利。クリーンスポーツを実現するあなたを守る。

アスリートは、クリーンスポーツに参加する権利を持っています。ドーピングをするように促されること、ドーピングを断ったり通報したせいで嫌がらせを受けること、望まないドーピングによって心と体の健康が損なわれること、こういったことがないように、アスリートは自分自身がクリーンスポーツに参加する権利があることを知り、どのような場面で権利を使えるか理解することが大切です。全てのアスリートのクリーンスポーツに参加する権利は、世界アンチ・ドーピング規程（コード）と国際基準によって守られています。

アスリートの責務。クリーンスポーツに参加するための7つの条件。

クリーンスポーツに参加するための、7つの条件が「アスリートの責務」です。

1 ルールを理解し、守る。

2 いつでも・どこでも検査に対応。

3 体内に摂り入れる物に責任を持つ。

4 アスリートとしての自分の立場と責務を伝える。

5 過去の違反を正直に伝える。

6 ドーピング調査に協力する。

7 自分のサポートスタッフのことを説明する。

「知らなかった」は認められない。

「自分が摂取した薬やサプリメント等が禁止されていたなんて知らなかった！」わ、言い訳になりません。アスリートは体内に摂り入れる全ての物に責任を持たなければなりません。これを「厳格責任」といいます。

ここまで学んだあなたは…ライツメダルをゲット！

レベルアップチャレンジ！「クリーンスポーツに参加するみんなの権利」を読んで、自分で権利を使える場面をいくつかあげてみよう。